

部活動を通して考えたこと

浜田市立浜田東中学校 一年 皆吉璃笑那

私は、部活動で野球部に所属しています。今、所属しているメンバーでは、女子は私一人です。ある日の練習試合のことでした。相手のチームの方に、ふと言われた一言に「え？」と思いました。それは「女の子だから。」という言葉です。考えてみると、小学校のクラブチームに入っていたころにも「女の子がいる。」とか「女の子なのに頑張るね。」などと言われたことがありました。小学校のころはあまり気にしていませんでしたが、中学校に入ってから、「これって男女差別になるんじゃないかな。」とを感じるようになりました。今でもたまに言われることがありますが、もやもやしながらも、野球が大好きだから今でも続けています。

今の部活動では、野球部の部室はあって男子が着替えるスペースはありますが、女子の着替えるスペースはありません。このことは二つ上の先輩のときから変わってなくて、先輩が引退した今は、私一人だけ、体育館の更衣室で着替えをしています。他の部員より多く移動する分、時間がかかってしまうので女子用の部室もあるといいな、と思っています。

また、合同練習などで他のチームと一緒に練習する機会があると、よく「ペアを作って。」という指示がでることがあります。そういうときに、誰にも声をかけてもらえなかったり、ひどいときには一人だけ残ったりすることもあります。最初はショックを受けましたが、そういうことはよくあるので、今では「またか。」などと思ってしまう。

ある日、テレビを見ているとあるCMを見つけました。音がなくて、いくつかの場面とその場面のセリフが文字で出て、最後に「聞こえてきたのは男性の声ですか、女性の声ですか。」と問いかけていました。自分のことと重なって、きちんと考えてみようと思いました。

そもそも高校野球でも男子のチームに比べて女子のチームの数はとても少なく、これもおかしいと感じています。私にとっては身近なスポーツである野球だけではなく、サッカー、バスケ、ラグビーなど男子がするものだというイメージを持っている人は多いと思います。このイメージで傷つく人もいる、ということを考えると、まずは、このイメージからなくしていくことが大切だと思います。

なくしていくためには、どうするのか。それは、今の日本は「女だから。」とか「男だから。」という社会の仕組が強いような気がします。その仕組を社会全体で変えていこうとする取り組みを持続していくと良いと思います。そうすることで私たちが大人になる時や私たちの子どもの時には、今よりも、もっと、もっと、男女共に過ごしやすい社会になっていると思います。

これから私は、嫌だな、と感じたことは、周りの人達に伝えて、その発言が人を傷つけていることに気づいてもらいたいと思います。そして、同じように傷ついている人がいたら、その人に寄り添って、支えていける人になりたいと思います。